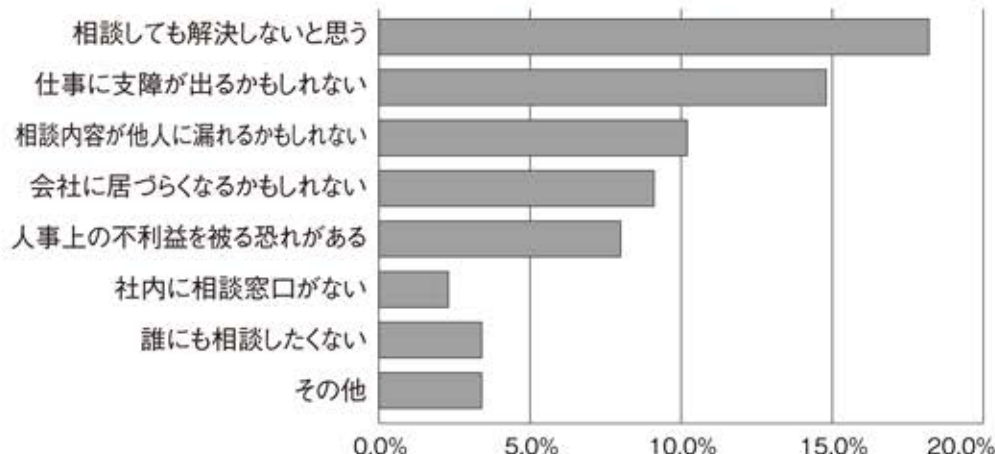


メディアにおける セクハラの実態は—？③

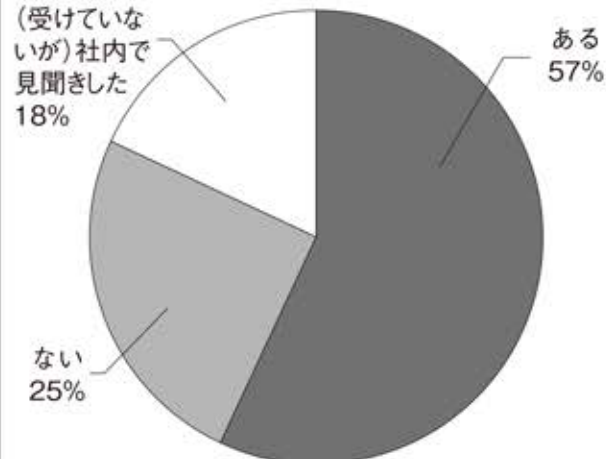
MIC セクシャル・ハラスメント
Web アンケート

セクハラについて相談しなかった理由



セクハラを受けた、見聞きした男女のうち、相談窓口などどこかに「連絡・相談した人」は30%、「相談しなかった・できなかった人」は70%だった。この割合はMIC全体の回答割合とほぼ変わらない。「相談しなかった・できなかった人」になぜ相談しなかった・できなかったのか理由を聞いてみたところ、一番多い回答はMIC全体での回答と同じで「相談しても解決しないと思う」が18.2%となった。

セクハラを受けたことがありますか（女性のみ）



「あなたはセクハラを受けたことがありますか」という質問では、回答者全体では「受けたことがある」割合は35.2%だったが、女性だけの回答に限ると57%が「受けたことがある」と答えている。「見聞きしたことがある」と合わせると75%となった。

日本マスコミ文化情報労組会議（MIC）女性連絡会で2018年7月18日～8月17日まで行った、セクシャル・ハラスメントに関するWebアンケート調査の集計から、「放送」業界に特化した結果の一部を今号と来月号で紹介する。